

令和3年度榛東南部こども園自己評価結果

1 教育・保育目標

元気な子 / 心豊かな子 / 考えられる子

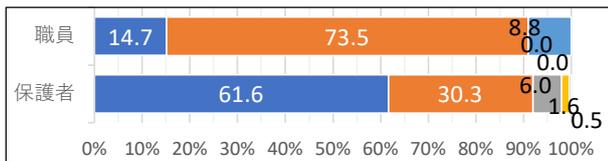
2 今年度の重点

- ◎園内研修を充実させ、保育ドキュメントによる情報交換を行い、主体的な保育の質的向上を目指す。
- ◎本園における人事評価制度をもとに各自の目標達成を通して、職員の資質向上を図る。
- ◎日常の感染症対策を徹底するとともに、園行事等の見直しを行い、安全安心な園の運営を行う。

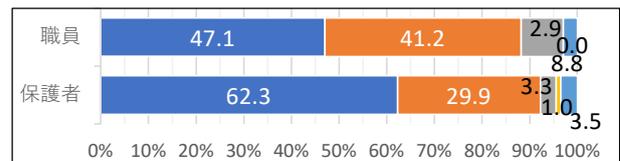
3 榛東南部こども園の教育・保育に関する保護者及び職員アンケート結果

■ そう思う ■ ほぼそう思う ■ あまりそう思わない ■ 思わない ■ わからない

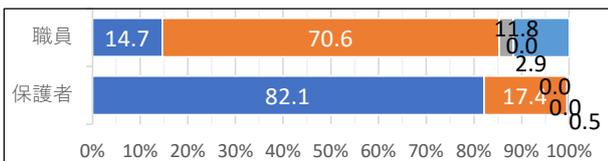
2-(1) あなたのお子さんは、喜んで園に登園していますか。



3-(3) 今年度は新型コロナの影響で小学校や地域との連携が十分に行えませんでした。新型コロナが収束したら連携の機会を多くして欲しいと思いますか。



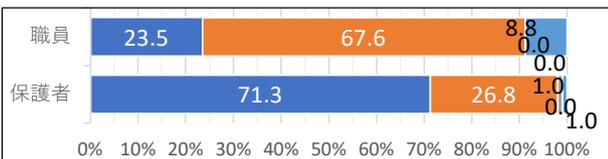
2-(2) 園では、子どもたちが友達と一緒に遊び、刺激を受けながら共に過ごす楽しさを味わう保育を行っていると思いますか。



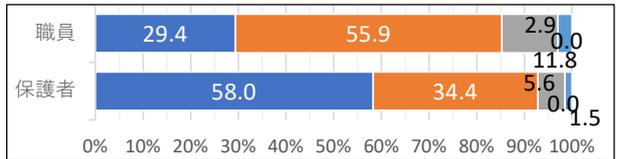
4-(1) 園は、地震や火災、不審者等の問題に対し、適切に対応しようとしていると思いますか。



2-(3) 園では、子どもたちが遊びや集団生活に必要なきまりを知り、守ろうとする態度を育てようとしていますか。



4-(2) 園は、健康管理・感染症等に関し、適切に対応していると思いますか。



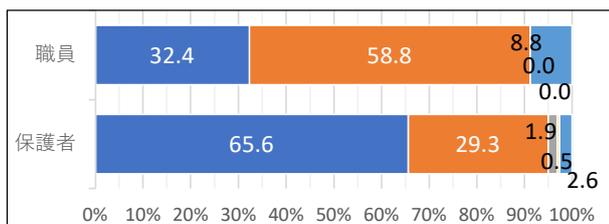
2-(4) 園では、子どもたちが様々な物事に興味関心を示し、知的好奇心や思考力、感動する心などを育てようとしていますか。



5-(1) 園では、野菜などの栽培を通して、子どもたちに食に対する興味・関心を高めようとしていますか。



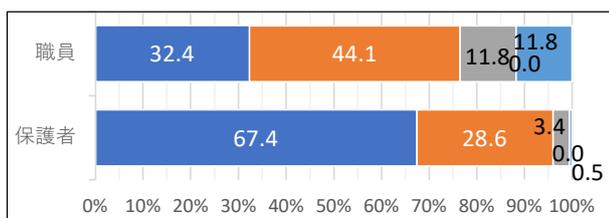
2-(5) 園では、子どもたちに思いやりの気持ちや我慢する力などを育てる保育をしていると思いますか。



2-(6) 園では、子どもたちに自分からあいさつができるよう保育をしていると思いますか。



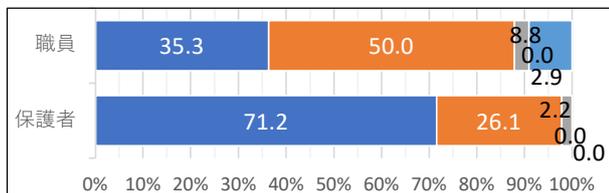
2-(7) 園では、命や自然を大切に作る心を育てる保育をしていると思いますか。



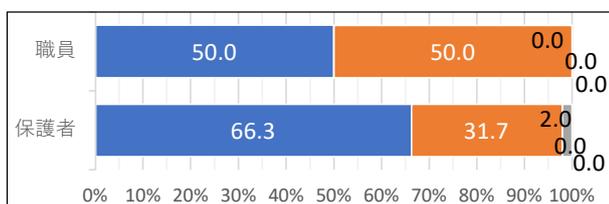
2-(8) 園では、子どもたちが進んで身体を動かし、体力が向上するような保育をしていると思いますか。



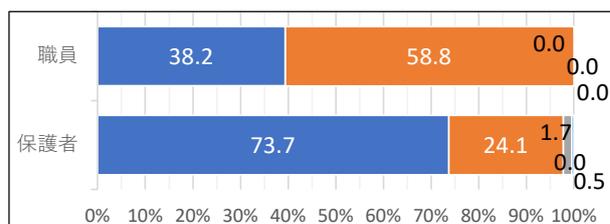
3-(1) あなたのお子さんは、園の行事に喜んで参加していると思いますか。



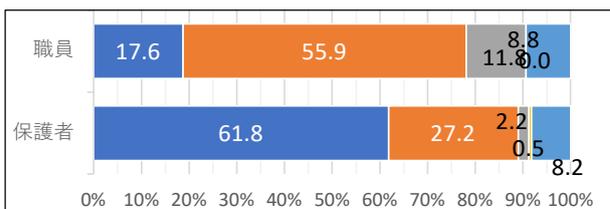
3-(2) 園行事は新型コロナの影響で縮小や削減を余儀なくされましたが、その中でも工夫して実施していたと思いますか。



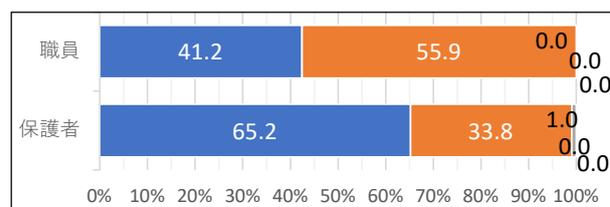
5-(2) 給食は、季節感ある献立内容だと思いますか。



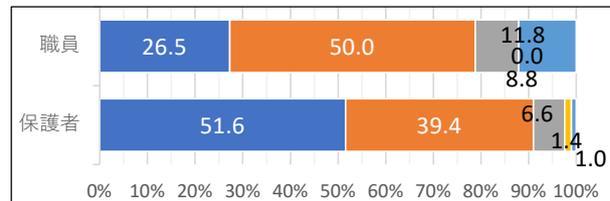
5-(3) 給食では、子どもたちが落ち着いて楽しく食事ができるように心がけていると思いますか。



6-(1) 園や各クラスの様子などは、「園だより」や「クラスだより」、ホームページやfacebookなどを通じて、わかりやすく伝えられていると思いますか。



6-(2) 送迎時のお話や連絡帳などで、園や家庭でのお子さんの様子について情報交換がされていると思いますか。



6-(3) 困ったことや気になることがあった時に、気軽に園や担任に相談したり尋ねたりできますか。



7 自由記述 (一部抜粋)

○秋頃の行事が立て込んでいるので、何かしら減らすのは難しいか？子どもたちはたくさんの行事にうれしそうではあるが。
 ○子どもと保護者のことをとても考えていると感じます。
 ○1対3の人数は基本だと思うが、補助が必要な時もあるので、補助に入れる余裕のある職員人数を確保してもらえるとありがたい。
 ○園内研修は学ぶことがたくさんあり、よい。0歳児の研修をもっと受けたかった。
 ○ワクチンについては、任意なので、本人の意見も受け入れてもらいたい。

4 自己評価結果のまとめ

○園内研修を充実させ、保育ドキュメントによる情報交換を行い、主体的な保育の質的向上を目指す。

「日本版保育ドキュメンテーションのすすめ」（小学館・大豆生田啓友・おおえだけいこ著）の輪読を通しながら、各クラス保育ドキュメンテーションの作成を行ってきた。園内研修のテーマが「主体的な遊びを広げる中で、友達の思いに気付いたり相手の立場に立って考えられるようになる園児の育成」であり、それぞれのクラスで「主体的な遊び」をどうとらえるかを吟味しながら、先生から言われたことをするのではなく、自分の興味関心をまず第一にした活動を展開していった。例えば、年長で毎年行っている「野菜作り」では、自分が育てたい野菜を自分で選び、タネから育てることを通して、野菜の特徴や成長過程、収穫、食育としての調理喫食など、それぞれの園児が最後まで意欲的に取り組んでいたのが印象的である。また、これをドキュメンテーションとしてまとめ、保護者の方々にも目に触れるようにしたことにより、子どもたちへの賞賛や家庭での話題の広がり、各家庭での実践にまで広がっていったことは、大きな成果であったと考える。

○本園における人事評価制度をもとに各自の目標達成を通して、職員の資質向上を図る。

令和3年度に初めて導入した人事評価制度であるが、職員はこの一年間に自分が取り組むべき課題を園の経営方針の中からとらえ、真摯に取り組んでいた。職員アンケート結果にその内容が反映されていないので、次年度には、これに関するアンケート項目を入れて、自分自身の活動にどのように反映されたか、そして、それが園の運営にどのように変容をもたらしたかなど、具体的に検討していきたい。

○日常の感染症対策を徹底するとともに、園行事等の見直しを行い、安全安心な園の運営を行う。

相変わらず、新型コロナウイルスの終息が見通せない状況である。園では、園児が手に触れるところをい徹底して消毒を行っているが、家庭内感染等により、広がる可能性も無視できない。園内関係者に陽性者の報告があった場合、感染の広がり可能性を慎重に判断し、必要があれば、家庭保育の協力の要請を行い、複数名の陽性者の報告があった場合には、村から登園自粛のお願い文書を発出してもらうようにしているが、幸い令和3年度については、ほぼ安全安心な運営ができた。

その結果、園行事についても、集団が密集したり、不特定多数の人が集まるような行事はやむなく中止としたが、それ以外のものについては、感染防止対策を行いながらの実施とした。保護者アンケートの中でも「コロナ禍の中、工夫して行事を計画して下さりありがとうございました。」や「コロナ禍ですが、子どもが楽しく園で過ごせているようで、大変ありがたく思います。」など、肯定的な意見を寄せてくださった保護者が多くいたのは、私たちの取組が受け入れられていると感じ、大変にうれしかった。

5 総合評価 A'

令和3年度においても、概ね本園の教育・保育に関する取組状況は順調であったと思う。新たに始めた「人事評価」の取組についての検証が不十分であったので、次年度は、職員一人ひとりが本園の運営に関わっているという自覚を持つ意味からも、この点に関する自己評価を充実させていきたいと考える。

また、来年度は、榛東村が主催する「人権教育に関する公開保育発表園」としての取組を充実させ、園児の主体的な遊びを通して、幼児期に育てたい思いやりの心を含めた資質や能力をしっかり育てられるよう取り組んでいきたい。